

もっともっと伝えたい！先週に引き続き、遊びの様子をお伝えします。



蒲幼稚園 No.5 R4,10,21

自分たちで考える



子どもたちが自分で考えて選択し、試してみることができるよう環境を整えていったところ、いろいろな場面で見られるようになり、その子なりによく考えて遊んでいる姿が見られるようになりました。「これを使ったらどうかな?」「ここから登ったらどうかな?」「もっと面白くするためにはどうしたらいいかな?」元々子どもたちは考える力を持っています。「今、考えているなあ〜。そっとしておこう」「この子は、何を楽しんでいるのかな?」「どんなことに気が付いたのかな?」と子どもが遊ぶ姿からいろいろなことを読み取ろうと努力を重ねる日々です。



できるかな?

大きな穴にかけられた橋の水平を保つにはどうしたらいいか?友だちと考え、試すことを繰り返していました。

長く繋いだ樋に水を流します。イメージ通りに下まで流れつくでしょうか?樋の角度やつなぎ方、水の流し方などを少しずつ調整していきます。上手くいったりいかなかったりを繰り返しながら感覚として学んでいる子どもたちです。



やってみよう!

丸太のアスレチックや一本橋にはたくさんの子が挑戦するようになりました。今日できなくても、また明日やってみよう!「この子にこんな粘り強さがあったんだ」と思いがけない姿に驚くこともあります。昨日の自分と今日の自分の違いを感じながら、以前の自分と今の自分との違いを感じながら少しずつ成長していきながら自信も身につけていくのでしょう。



子どもって、すごい!



ある時見かけたこんな姿

花組さん(3歳児)がクライミングに挑戦していました。星組さんも(満3歳児)「ぼくもやってみよう」と張り切って飛びついたので、思っている以上に難しく登ることができません。何度か取り組んだのち、丸太に体をゆだねて何か考えています。雪組さん(4歳児)が丸太をよじ登る様子を見て自分も丸太にしがみつきますが、やっぱり登れません。「ここなら登れるよ」と言いながら飛び乗ったところは、近くにあるベンチの上でした。

集団遊びも活発に!

運動会を経験した子どもたちは友だちと競う、チームで戦うことがより一層楽しくなりました。自分たちで友だちを集め、チーム分けをしてゲームをスタートする姿も見られます。体が温まる集団ゲームは、これからももっともっと盛り上がっていくことでしょう。



大きい子がやっていることに憧れて、やってみる。でも、今の自分ができることを見極める力も、ちゃんと子どもには備わっているんだなあと感じました。「まだ無理だよ」「危ないからやめとこう」と決めるのは、大人ではなく子ども自身であることを教えてもらいました。子どもたちが自分で考えることが楽しくなるような環境作りをこれからも目指していこうと思いました。

